

学生フォーミュラと ETAS

技術開発と人材発掘のプラットフォーム

学生フォーミュラは、ハイパフォーマンスモータースポーツ、エレクトロモビリティ、自動運転の各分野において、新技術の性能を試す国際的イベントに成長しました。この学生の力量を試す競技の中でも特に注目されているのが、年に一回ドイツで開催される学生フォーミュラドイツ大会です。世界中の大学から総勢 118 チームが参加します。

過去 6 年間、ETAS は、学生フォーミュラドイツ大会の主要パートナー兼スポンサーを務めてきました。今年は、世界各地から参加した 30 以上のチームをサポートしました。ETAS の製品ポートフォリオからハードウェアやソフトウェア、さらに社内の専門家による技術的なスキルやアドバイスまで、あらゆる方面でサポートを提供しています。ETAS がスポンサーになっているチームは、ETAS のソリューションを通じて、レースを有利に戦うことができました。ETAS の製品は、駆動システムの開発で広く使用されており、その使いやすさと用途の広さ、業界からの広範な支持によって高い評価を得ています。ETAS にとって、このイベントは、ETAS 製品を学生の方々に知ってもらう絶好の機会であり、また、きわめて有能で意欲の高い若い人材に出会う場でもあります。

学生フォーミュラドイツ大会は、内燃機関 (Combustion)、電気自動車 (Electric)、ドライバーレス (Driverless) の 3 つのカテゴリに分かれています。内燃機関カテゴリでは従

来の動力源を使ったレーシングカーで競技が行われるのに対し、電気自動車カテゴリでは電気自動車を使って競技が行われます。ドライバーレスカテゴリでは、自律走行車が人間の介入なしにコースを認識して走行することを求められます。ドライバーレスカテゴリは、昨年から導入されました。3 つのカテゴリすべてに共通するテーマは、競技に出場する車の走行性能だけでなく、経済面と技術面における秀逸さも評価されるということです。最終的な結果には、これらの部門におけるパフォーマンスが大きく影響します。第 13 回学生フォーミュラドイツ大会は、2018 年 8 月 8 日から 8 月 12 日までホッケンハイムリンクで開催されました。イベントの主要スポンサーとして ETAS が構えた専用ブースでは、おいしいコーヒーや冷たい飲み物が振る舞われ、技術的質問や人的ネットワーク形成、リクルート担当者との出会いが繰り広げられる熱気溢れる場所となりました。今年、ホッケンハイムでは、新しい「ETAS Blue Box」がデビューしました。2018 年の組み込みワールドトレード



フェアで初めてベールを脱いだ Blue Box は、輸送コンテナを移動式の ETAS 展示ブースに改造したものです。作り付けのカウンタと ETAS LABCAR 冷蔵庫を装備したこのブースは、ホッケンハイムリンクで開催されたこのアウトドアイベントで大いに活躍しました。

競技初日の月曜日、各チームはそれぞれのピットに移動し、目前に迫る厳しい戦いに備えて、チームやその車両の準備をしました。しかし実際のトラックで走行性能を披露するためには、あらかじめ、「車両検査」段階をパスしなければなりません。車の安全性とレースへの出場資格をチェックすることを意図した一連のテストです。

静的部門は水曜日と木曜日に開催され、各チームは、事業計画、コストレポート、エンジニアリングデザインに関するプレゼンを行いました。これらの部門は、自動車業界のさまざまな企業の専門家から成る審査員によって評価されます。

金曜日には、スキッドパッドテストとアクセラレーションテストでスピードを競います。スキッドパッドテストは、8の字コースで実施されます。車両が発生させることのできる横加速度を計測するのがねらいです。アクセラレーションテストでは、75メートルの距離でできるだけ速く加速することがレースカーに求められます。土曜日には、オートクロス部門で各チームがしのぎを削りました。日曜日のエ

ンデュランスラウンドにおける出走順も、このオートクロスで決定されます。エンデュランスラウンドは、レースカーの耐久性をテストするもので、全長 22 キロメートルの周回コースで開催されます。また、中間地点でドライバーの変更が義務付けられます。

どのチームも全力を尽くす素晴らしい競技となり、全員がハラハラしながら授賞式を迎えました。最終的に、内燃機関カテゴリで勝利を飾ったのはシュトゥットガルト大学のレーシングチームです。わずか数ポイントの僅差でグラーツ工科大学チームを破りました。3位にはコーブルク専門大学が入りました。チューリッヒ工科大学の AMZ Racing チームは、電気自動車カテゴリとドライバーレス車両カテゴリの2部門で勝利を挙げました。ETAS は、これらすべての優勝チームを長年サポートし、当社のハードウェアソリューションとソフトウェアソリューションを組み込んだレースカーの開発を支援してきました。学生フォーミュラで優勝した各チームの健闘を称えます。

執筆者

Klaus Fronius, ETAS GmbH, 大学渉外マネージャ

